



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
           益田デューク (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
           (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
                   Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石 叫 ■

「不真実な祈り」

ペテロは獄の中で兵卒4人に監視され、二重の鎖につながれていた(使徒行伝十二章)。そして、まもなく民衆の前に出されて殺される状況にあった。そのペテロのために教会では熱心な祈りが神に捧げられていた。それは彼が獄から解放されることを願う祈りであった。以前にも主の使いがペテロたちを獄から連れ出したことがあったので(同五章)、同じ奇跡を彼らは期待したのであろう。

さて、ペテロが獄から出て、教会となっていたヨハネの母マリヤの家の門をたたくと、女中のロダが彼の声を聞いて、門を開けもせずに家に駆け込み、「ペテロが門口に立っている」と叫んだ。でも人々はそれを信じないで彼女に「あなたは気が狂っている」とまで言ったのだ。実際、教会はペテロが獄から解放されることを願って熱心に祈っていたのではなかったか? このところから私たちは、彼らは口では解放されることを祈ってはいたが、心ではそうではなかったことが分かる。祈りにしても私たちは不真実な祈りをしているということだ。私たちも愛する者の救いを願って日々祈ってはいても、どれだけ心を込めて祈っているのかというと、そうでない場合が多いのではあるまいか。

ルカ1章のザカリヤの祈りも同様である。妻が不妊の胎で、二人とも年老いていたが、子の出生を祈っていた。ある日、彼に天使が現れ、祈りが聞かれたと言ったのである。それが彼には信じられなかった。つまり彼の祈りは口先だけの祈りであったのだが、彼の祈りに何か安らぎを感じるのには私の不信仰か。

「たとい、わたしたちは不真実であっても、彼は常に真実である」(2テモテー1:13)とある。いい加減な祈りに陥りやすい私たちではあっても、主はそうではない。その私たちを信じて十字架にまでついて、身代わってくれた主のご真実を思う時に、何としても主のご真実に答えてゆきたいと思うのである。

明智光秀の娘、細川ガラシャはその信仰のゆえに壮絶な最後を遂げた人物である。彼女の女中、佳代は祈りの人であった。彼女はある時「御方様、この祈りを何としても、神にお聞きとどけただかねばと、切に切に思いますとき、おのずと、汗も涙も出るものでございます」とガラシャに言ったことがある。続いて「人様に少しむずかしいことを頼みまするさえ、わたしくどもは必死でございます。祈りいたさねばなりません」と言ったのだ。やがてガラシャは信仰に入っていく。友よ、真実な祈りこそが人の心を開く主のみ業である。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使途信条を、私達の信仰告白といたします。

